

しっふう けいそう
『疾風の勁草となれ！』 大垣北高、伝統の凧揚げ大会開催

- 揖斐川左岸44.4Kp（瑞穂市呂久地先）の河川敷において、2月5日（水）、大垣北高校生徒会（大垣市中川町）による恒例の「第43回凧揚げ大会」が開催されました。寒風吹きすさぶ中、1年・2年生の生徒約630名が参加。生徒たちは、各クラス毎に3点ずつ計48点の平凧や立体凧、連凧を制作し、大空高く舞い上げていました。



縦7m×横3mの大凧や思考を凝らした凧が次々と空に上がっていました。

- 生徒会担当の加藤教諭は、「昨年、流行った出来事や著名な人物を凧に描いたものが多い。日常の学業とは違った楽しみを、仲間と共に分かち合い感じてもらえたら嬉しい!」。また、高橋学校長は、当校のスローガンは、『疾風の勁草となれ!』です。これは、厳しい社会から逃れようとせず、敢えて疾風の中に生き抜く本当の強さを持った人間になって欲しいという思いを込めたものです。今日のような寒空の下でも、元気よく、生徒たちが、凧のように舞い上がってくれることを期待したいものです。」と、笑顔で生徒たちの活動を見守りながら、熱く語っていただきました。



カラフルなデザインの手作り凧を見せてもらいました!



凧揚げ大会の様子は、大垣ケーブルTVで放映されました。